

## 心からなる平和

(原文)

佐々木 太希 (13 歳)

兵庫県

須磨学園中学校

もし、あなたが何かの勝負をしたとします。勝負をしたからには、勝ちと負けがあります。もし自分が負けた時、どう思うでしょうか。悔しい気持ちはあると思いますが、「こうしていれば勝てたのに」や「相手のせいだ」と考えることもよくあるのではないのでしょうか。これが小さな勝負ならばまだ良いのですが、とても大事な勝負だと、相手を憎む気持ちも強くなってしまいます。そうなればいつ争いが起きてもおかしくないような関係になってしまうこともあります。もちろん勝負をすることは、全然悪いことではないと思います。しかし、勝負をすることによってあまり良くない関係になることもあるのです。

このようになってしまうのは感謝ができていないからだ、私は思います。もちろん全く人のせいにしてはいけないことは、人である以上おそらく無理だと思います。それでも、感謝が出来ることを出来る限り探し出すようにすることは大幅に争いを減らすことにつながると私は思います。

人は、一生幸福で居続けることは非常に難しいと思います。例えば誰かに親しい人が亡くなったり、大きな悩みを抱えていたりした時に、幸福だとは思えないでしょう。こういうことは、人間が感情を持った生き物であるので誰にでもあると思います。しかし一生幸福にはできなくても、感謝によって幸福な時間を増やすことはできると思います。何故なら感謝をするには、感謝する事柄が必要です。感謝する事柄を探すとポジティブなことが多く思い浮かぶと思います。そうする内に自然と明るい気持ちになると思うのです。逆に文句などを頭に思い浮かべていくと、芋づる式にどんどん思い浮かんでいき、少なくとも明るい気持ちにはならないと思います。

私は、少し前まで笑顔であることが平和だと思っていました。広島に行って戦争について学んだ時にそう感じたからです。でも笑顔であることを平和だとすると、悲しんでいたり落ち込んだりしていたら平和ではなくなってしまうことに気が付きました。そうして考え直した結果、私は平和に過ごせるかどうかは心次第だと思うようになりました。しかし幸福でないと平和ではないとは思っていません。例えば大きな失敗をしまい落ち込んでいる人が、幸福とはいえないでしょう。その人にとってその時は平和では無いのでしょうか。人によって平和と感ずる程度は違うと思います。幸福ではなくとも平和とは呼べる部分はあると思います。

私は、中学受験をしました。しかし、一番の希望の学校には届きませんでした。結果を受けてしばら

くはとても落ち込みました。それでも、今では自分に本当に合っていたのはこの学校で、目指した学校を受験するだけの学力を身につけることもできたのだと思い、これまでの自分に感謝しています。これは、少しずつポジティブな考え方にしていこうとしなければ、得ることのできなかった考え方だと思います。

人間一人ひとりの心によって平和になるかは決まっています。また、平和になることを嫌がる人はいないと思います。平和になるために自分が感謝の気持ちを持つことが大切なのです。